

令和5年度第1回宮代町児童福祉審議会会議録

開催日時：令和5年8月17日（木）午後2時～午後3時50分

開催場所：役場202会議室

出席委員（敬称略）：深井岳史、大作恵美子、八重樫元、田崎誉代、山根珠江、齋藤宏之
高橋瀬梨奈、関根恵、横田博子、小野美保

欠席委員（敬称略）：野口昌弘、諸星香代子、伊東侑子

事務局：子育て支援課 横内課長、飯山副課長、吉田副課長

傍聴：申込なし

- 1 開会
- 2 資料確認
- 3 委嘱状交付
- 4 町長挨拶
- 5 委員紹介
- 6 会長及び副会長の選出 ※互選の結果、以下のとおり決定。
会長：深井岳史 副会長：山根珠江
- 7 会長挨拶
- 8 議題

- (1) 「第2期宮代町子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況について
事務局から資料1の内容を説明。

委員 説明にあった「1 教育・保育施設の充実」の（3）保育所等の特記にある“途中入所児に対応するには園全体の定員及び保育士の確保が課題である”ということについて、もう少し詳しく教えてください。

事務局 園全体の定員とは、私立は60名、公立は120名となっており、各年齢においても基準があります。例えば保育士配置では、0歳児は園児3名に対し保育士1名であることや保育室の面積、例えば0歳児は1人につき3.3㎡必要である等の基準を踏まえ各園の入所数が決まります。4月入所であれば、可能な限りどの園も職員の配置の準備をし、その時点で余裕のある職員配置ができている園であれば、途中入所も可能ですが難しい状況です。

事務局 補足説明ですが、例えば、4月に0歳児3名であれば保育士1名配置していればよいのですが、限界値となります。そこに途中入所で0歳児の希望があった場合には、もう1人

保育士を確保しなければならず、なかなか保育士が見つからない状況です。

3歳児であれば、園児20名に対し保育士1名の配置等、保育士1名で保育できる定数が多くなるので途中入所が比較的しやすい状況ではあります。

児童の年齢が低いほど、保育士確保が困難となっています。

委員 途中入所が出た時点で募集をかけるのですか。

事務局 公立も年間を通じて募集をかけている状況です。民間保育園でも、4月に定員が満ちている園では保育士募集はあまりないかと思いますが、定員に空きがある園では、可能な限り途中入所が可能となるよう保育士の募集をしています。

委員 なかなか保育士の確保は難しいのですね。

(2)「第3期宮代町子ども・子育て支援事業計画」について

事務局から本日配布した追加資料の内容を説明。

議長 「第3期宮代町子ども・子育て支援事業計画」の説明を受け、非常に難しい内容でありましたが、令和7年4月施行の計画で、様々なニーズ調査を行った上で策定になるということでしょうか。

それプラス、新しい行動計画等を加え「第3期宮代町子ども・子育て支援事業計画」と新しく一緒に作るということでしょうか。

事務局 現段階ですと、ニーズ調査をそれぞれ行った上で、計画の名前は「第3期宮代町子ども・子育て支援事業計画」ではなく、この計画と“貧困”“若者”も含めた「宮代町こども計画」となる予定です。

議長 “こども貧困対策”や“若者計画”などを含めた新しい計画を、令和7年度から施行するということで、今から調査をしていくということですね。

(3) 令和4年度子育て支援課所管の事業報告及び令和5年度事業計画について

事務局から資料2の内容を説明。

委員 議題(1) 保育所の説明にある実績数の黒い三角は、令和4年度は16名待機児童がいるということで、令和5年度は新しい園ができて解消されるという見解でよいですか。

事務局 こちらの数字は待機児童数ではなく、あくまでも確保の内容と量の実績との差の数字です。各園の各年齢において、入所数を調整し、待機児童が出ないように対応をしています。

委員 待機児童ではないのですね。

事務局 令和4年度当初は待機児童が生じていましたが、令和5年度はお陰様で、待機児童ゼロとなりました。

(4) その他、全体的な質問について

委員 多くの事業を展開されているが、宮代町が他の自治体に自慢できる独自の事業はありますか。

事務局 令和5年度の新規事業での説明にありました、今年の10月から開始する「産前産後家事・育児サービス利用支援事業」があげられます。都内では進んでいますが、県内ではあまり例がない事業です。

内容は、妊娠中から産後こどもが1歳になるまでの家庭において、家事・育児サービスを受けたら、その一部の費用を補助するもので、利用の条件等に幅を持たせ、なるべく広く利用してもらえるよう考えております。民間のベビーシッターの利用や家事支援として、家の掃除や料理を作ってもらえるなどのサービスを受け、支払った費用の補助額は、1回約2,000円を見込んでいます。

孤立しやすい保護者の方を支援しようという事業で、これから県内でも増えてくるとかも知れませんが、宮代町が先立っていると思われる事業です。

9 閉会

課長 これから2年間をかけて、計画を策定していきますが、宮代町らしい実効性のある計画にしたいと考えています。宮代町で、子育てをして良かったと感じていただけるような事業を実行してまいりますので、委員の皆様には、今後におきましてもご意見いただけますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。